

	ページまたは項目	追加意見	事業者回答
1	鳥類	<p>対象地域一帯は以前はイヌワシが定着しておりまた最近でも散発的に目撃情報が見られており、生息繁殖していない場合であっても分散過程の個体における重要な生息地としてのポテンシャルがあるものと考えられる。</p> <p>については現時点で、文献や情報提供、現地調査において周辺地域におけるイヌワシの生息や目撃について情報はどの程度把握できているのか？またその情報に基づいた調査体制や方法が方法書に記載されているのかについて説明していただきたい。</p>	<p>地元の方からの聞き取りでは、対象事業実施区域周辺のイヌワシ目撃情報については20年前にあったが営巣地は現在存在しておらず、飛翔も近年見かけることが減ったとの情報を得ました。現段階では、対象事業実施区域周辺にイヌワシが営巣している可能性は低いものと想定しております。なお、希少猛禽類調査でのイヌワシの出現情報から、調査範囲を広げるなど定点配置の検討を行う予定です。昨年12月より先行調査を実施しておりますが、現段階ではイヌワシは出現しておりません。</p>
2	鳥類	<p>猛禽類の渡りについては民間団体等も含めてさまざまな地点で調査が行われているが、春季の渡りについてもタカの渡り観察ネットワークの調査で今回の改変予定地がまさに渡りのメインコースになっていることが明らかにされている。このようなデータを把握されているのか？また把握されている場合はそれらデータに基づいて調査時期や地点、体制等が記載されていると理解して良いか？</p>	<p>ご指摘のタカの渡り観察ネットワーク等を参考に、調査時期については、検討を行いました。また、周辺地域において民間団体による調査も実施されており、その実施時期等を参考といたしました。それらの情報から三十三間山でタカの渡りが確認されていることを把握しております。方法書届け出以降の近年の情報が得られれば、時期や地点については、適宜見直すことを想定しております。</p>